

第2回まちづくりと野川に関する懇談会の概要

第1回の懇談会でご紹介したまちづくりと野川について、実際に現地で整備事例を見ながら考えるため、第2回の懇談会は下記のとおりまち歩きを行いました。

参加者の皆さんに参加票をお配りしたところ、まちづくりと野川について多数のご意見を頂きました。

- ・日 時：平成27年10月24日（土）午前10時から午後0時30分
- ・場 所：もみじ橋（国分寺市）～西之台会館（小金井市）
- ・参加者：市民 27名 （事務局4名）

[主なご意見等]

項目	ご意見・ご感想
災害に強い まちなみの 形成	<ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化、気候変動、ゲリラ豪雨に対応するために整備は必要である。 ○親水性の遊歩道を整備し、緊急時は車両の通過を可能としたらどうか。 ○下水道が整備され治水に問題はない。市民の生活・財産を優先してほしい。 ○災害に強いまちづくりは重要、延焼を防ぐ効果を考える必要がある。
緑豊かな空 間の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○桜の木など季節感を感じられるように。遊歩道に街路樹が欲しい。 ○野川の川底は粘土張りや、自然石などで固めてほしい。 ○川岸へ降りる事が出来たり、川中に飛び石を設けたり、下流と連続性を持った整備が必要。 ○未来の子供たちに生物多様性は重要。いろいろな生物が来るような河、岸にしてほしい。
良好な住環 境の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○生活するためあやめ橋はそのまま残して欲しい。 ○居住者・高齢者にとって住みやすい環境を確保する事が大切です。 ○道幅が狭いので、野川周辺に遊歩道をつくってほしい。 ○生活道路は今まで通り確保して、さらに必要な動線を検討してほしい。
地域の魅力 を守り・高 める	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の湧水は野川の源流である事をアピールしてほしい。 ○野川は国分寺史跡や真姿の池等と一体性を確保してほしい。 ○野川へ湧水を引き込む場合は、遊歩道として自然豊かな環境にしてほしい。 ○市民の手によって、野川や遊歩道の環境を維持する仕組み作りが必要である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○野川は早く整備すべき、補償をしっかり行って進めてほしい。 ○防災に関して考えると、川よりも道路の整備が必要です。 ○このままでは野川を次世代に引き継げない、市はスピード感を持って取り組んでほしい。 ○このような活動を市と市民で積極的にしていく必要がある。

○ まち歩き状況

